

県政への反映状況（平成29年度「県政への提言」）

<平成29年度に取り組んだもの及び平成30年度に取り組む予定のもの>

● 電気自動車の充電設備について：整理番号2

岡山県は電気自動車の充電施設が少ない。特に県北では夜間は空白地帯になる。充電施設を24時間化してほしい。

⇒ 電気自動車及びプラグインハイブリッド車を安心かつ快適に使うことのできる充電環境を整備するため、平成30年度から、県内に急速充電設備を設置する法人等に、予算の範囲内でその経費の一部を補助することとしています。

（新エネルギー・地球温暖化対策室）

● 信号機の設置について：整理番号3

倉敷市児島の国道430号線の大池東の交差点について、児島方面から走って行く、交差点の手前が下り坂の左カーブになっており、信号機が見えにくいので手前に予告信号をつけてもらえないか。

⇒ 平成30年2月に、信号灯器を増灯しました。

（警察本部）

● 電気自動車の充電設備について：整理番号18

電気自動車の急速充電時間の上限について、1時間ではなく、兵庫県と同様30分にするべきだ。

⇒ 県設置の急速充電器について、施設管理者と協議の上、1回の充電時間を30分（最長30分で充電を終了する）設定に変更しました。なお、現状の利用状況から、一部利用時間制限を設けていないものもあります。

（新エネルギー・地球温暖化対策室）

● 猟師の増員について：整理番号26

狩猟免許取得のための事前講習会について、増員の必要な市町村においては、自ら準備講習会を必要に応じた回数実施するぐらいの努力が必要だ。

⇒ 平成30年度は、岡山、倉敷、津山の3会場で4回狩猟免許試験を実施することとしており、猟友会主催の講習会についても、それぞれの会場で4回開催されることとなっております。

なお、県では、従来の免許申請手数料や、講習会受講料への助成に加え、平成30年度から、銃所持許可申請手数料の一部を助成することとしており、引き続き、狩猟者の確保に努めてまいります。

（鳥獣害対策室）

● 待機児童について：整理番号35

岡山市の待機児童問題に我慢できない。早急な対応が必要であり、県が補助金を交付できないのか。スピーディーな業務執行を希望する。

⇒ 県では、保育所等への1歳からの入所がしにくいため0歳から入所するケースが増加し、待機児童増加に拍車をかけている状況を踏まえ、平成30年度から、待機児童を抱える市町村と連携して、1・2歳児を積極的に受け入れる保育所等を支援する取り組みを行うこととしています。

また、保育士養成施設と連携して、就職支援や離職防止対策にも取り組むこととしており、引き続き待機児童の解消に向けて、関係機関と連携を図りながら対策を進めてまいります。

(子ども未来課)

● 教育者の資質等について：整理番号51

家庭での学習習慣を推奨しても、学校の授業で理解できない子どもは、家でも理解できず、塾で補うしかない。親に負担を押し付けても、すべての親が対応できるわけではない。学校の授業を理解できることが一番の課題ではないのか。

⇒ これまで、小学校4年生以上を対象としていた、小中学校の子どもたち一人ひとりの学力・学習状況の経年変化をきめ細かく把握するための調査を、平成29年度からは、小学校3年生まで拡大して実施したところであり、把握した個別の課題の解消を図るなど、子どもたちに確かな学力が身に付く指導を充実することとしています。

(教育委員会)

● 県道寄島笠岡線について：整理番号60

一般県道寄島笠岡線から主要地方道倉敷長浜笠岡線に突き当たる交差点の路面標示がほとんど消えて見えなくなっている。

消えやすい路面標示ではなく、案内標識を設置するべきだ。

⇒ 路面標示については、引き直しを行いました。

なお、ご提案の案内標識については、改修及び新設も含め、引き続き検討を行ってまいります。

(道路整備課)

● 小児がんについて：整理番号63

小児がん患者のがん治療の後遺症である晩期合併症により、就労や日常生活に支障を来しているが、行政関係者でもこの問題を知らない人が多い。

⇒ 平成30年3月に策定した、第3次岡山県がん対策推進計画において、「ライフステージに応じたがん対策」の項目を新たに設け、小児・AYA (Adolescent and Young Adult) 世代 (思春期世代と若年成人世代) のがんの経験者が治療後の年齢に応じて、診療や長期フォローアップを受けられる体制の整備に努めることとしております。

(医療推進課)

● 北朝鮮のミサイル発射等について：整理番号 80

北朝鮮のミサイル発射、核開発に関連して、最低限度個人でできる自己防衛の意識を高めていくだけでも相当の防災になるはずだ。知事には普及啓発の義務があると思うがいかがか。

⇒ 平成29年10月30日に、倉敷作陽大学において弾道ミサイルを想定した国民保護に係る避難訓練を実施しました。引き続き、こうした取り組みを通じ、県民の皆様が迅速な避難行動がとれるよう、普及啓発に努めてまいります。

(危機管理課)

● おかやま縁結びネットについて：整理番号 103

おかやま縁結びネットを知り、登録を考え応募を試みたが、登録、端末によるお相手を見るための来所予約は1カ月先まで埋まっていた。需要に供給が追いついていないのが残念だ。需要に対応できる仕組みや規模の拡大するよう改善してほしい。

⇒ 平成30年8月に県北地域へ支所を開設するよう準備を進めているほか、県南地域の常設会場の拡充、年間を通じた特設会場の開設(H29:30か所→H30:50か所)など、混雑の緩和、利便性の向上に向けた対策を講じています。

(子ども未来課)

● 電気自動車への対応について：整理番号 106

新聞に「EVや自動運転にどう対応するのか、県も一緒に頑張りたい」とあるが、岡山県として、EVに力を入れるのか。EV化で部品は4割減との説がある。県内には、ガソリン自動車の部品メーカーが多く、対応が難しいと思う。

⇒ 急速に進むと見込まれるEVシフトに対応するため、平成30年度から県内自動車関連企業の研究開発、EV関連部品等の新規参入への支援やEV等を安心して利用できる環境の整備などを行うこととしており、全国に先駆けてEVシフトに対応した産業と地域の実現を目指してまいります。

(産業振興課)

● 作物の安全性ランク付けについて：整理番号 117

各県で、様々な試みで、他県との差別化を図って競い合っているが、気候が穏やかで天災の少ない岡山県にとっては、農産物での差別化を図る良いチャンスだ。岡山県は、お酒と果物が売りだが、品質向上をもって、他県と差別化を図る食物の安全性をランク付けしてはどうか。

⇒ 本県では、国の基準より厳しい独自の基準で化学肥料と農薬を一切使用しない「おかやま有機無農薬農産物」の生産振興を行っており、平成29年度からは、販路拡大に向けた商談会や消費者等との意見交換会の開催、生産者等を紹介したポスターを作成し、プレミアムブランド化を推進しています。

(農産課)

● 防災対策について：整理番号123

無料Wi-Fiを設置していれば、災害時にもインターネットが利用できるという話を聞いた。県内の観光地や公共施設などに無料Wi-Fiを導入してほしい。

⇒ 平成29年11月に、岡山空港等26施設43箇所で、公衆無線LANサービス「おかやまWi-Fi」を整備するとともに、市町村施設や民間施設への設置を呼びかけたことにより、平成30年3月末時点で県内に522箇所のアクセスポイントが整備されております。

(情報政策課)

<平成28年度に取り組んだもの及び平成29年度に取り組む予定のもの>

● ガン教育について：整理番号194

ガンと共に生きる社会に関する教育を学校教育（公教育）で行うことが必要ではないか。

⇒ 平成29年度の実施状況

平成29年度は第2次岡山県がん対策推進計画の見直しを行うこととしており、ご意見も参考にしながら、計画内容の検討をさせていただきます。

⇒ 平成30年度の実施状況

平成30年3月に策定した、第3次岡山県がん対策推進計画において、「がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現」を全体目標の1つとして掲げたところであり、がん患者とその家族を社会で支える体制の整備を進めることとしています。その中で、がん患者の就労・就学に関する対策や、県民に対するがんを正しく理解するための普及啓発、学校におけるがん教育の充実に努めてまいります。

(医療推進課)

<平成27年度に取り組んだもの及び平成28年度に取り組む予定のもの>

● 後楽園の芝生広場について：整理番号5

後楽園南側の芝生広場を条件付きで開放してはどうか。城などの景色を楽しめない。

⇒ 平成27年度の実施状況

後楽園では、後楽園南側の芝生広場（東広場）からの景色を楽しんでいただくため、幻想庭園時にはイベントなどを実施しております。また、平成28年度からは、飲食施設の設置を含めた東広場等の有効活用策についても調査を行う予定としています。

⇒ 平成28年度の実施状況

平成28年度からは、飲食施設の設置を含めた東広場の有効活用策についての調査を実施しており、平成29年度も引き続き検討を行うこととしています。

⇒ 平成29年度の実施状況

平成28年度から、飲食施設の設置を含めた東広場の有効活用策についての調査を実施しており、平成30年度も引き続き検討を行うこととしています。

(都市計画課)

● 後樂園への飲食店等の誘致について：整理番号 29

後楽園内におみやげや食事の店の誘致をお願いしたい。

⇒ 平成 27 年度の取組状況

平成 28 年度に賑わい創出事業として、後楽園への飲食施設の設置を含めた東広場等の有効活用策について調査を行う予定としています。

⇒ 平成 28 年度の取組状況

平成 28 年度から、賑わい創出事業として、東広場の有効活用策についての調査を実施しており、その調査の中で、後楽園への飲食施設の設置を含めた検討を行うこととしています。

⇒ 平成 29 年度の取組状況

平成 28 年度から、賑わい創出事業として、東広場の有効活用策についての調査を実施しており、平成 30 年度も引き続き検討を行うこととしています。

(都市計画課)

● 県道の道路案内標識について：207

一般県道下原船穂線の道路案内標識が、道路の進行方向に逆らう案内表示になっている。

⇒ 平成 27 年度の対応状況

当該箇所道路標識の表示地名は、設置した倉敷市と調整し、平成 29 年度中に訂正を行う予定としております。

⇒ 平成 28 年度の対応状況

表示内容を含め、設置した倉敷市とも調整し、平成 29 年度中に訂正を行う予定としています。

⇒ 平成 29 年度の対応状況

表示内容については、平成 29 年度中に訂正を行いました。

(道路整備課)